



春の生命力

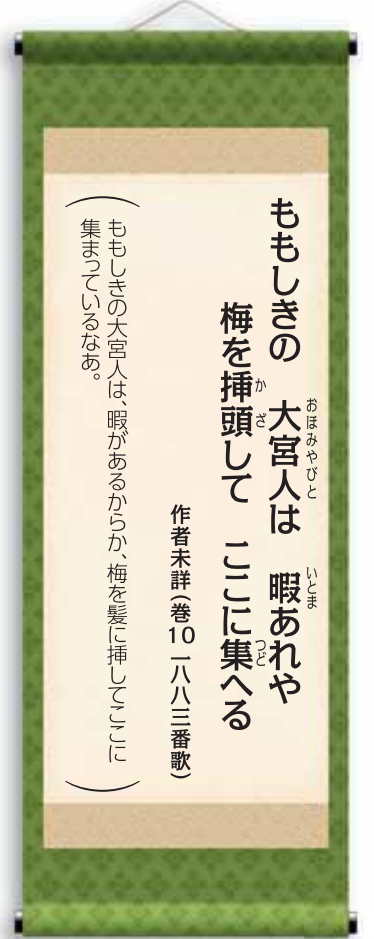
はじめての
万葉集
Vol. 10
日本に現存する最古の和歌集『万葉集』をわかりやすくご紹介。

毎年、梅の花がほころんでくると、もう春だなあと感じます。冬の間、表面的にはなんの変化もないように見えた固い皮の下では、春への準備が着々と進んでいたのかと思うと、植物の持つ力に心を打たれます。

古代の人々も、早春に咲く梅の生命力を愛していたようです。

「ももしきの大宮人」とは、多くの石を敷き詰めて築いた宮殿と、そこに仕える官人たちをほめたたたえた表現とみられます。この歌では、宮廷に仕える人々が梅の花を髪に挿して集うようすが詠まれています。

植物を髪に挿すのは、単なる飾りではなく、その植物の持つ生命力を人間の身につけるといって、呪術的な意味あいがありました。



この歌は「野遊び」と題された四首の中の一首で、歌中に「ここ」とあるのは、他の歌から、春日野であったことがわかります。「野遊び」とは、生活する空間とそれ以外の境界で春の生命力を得るための呪術的な行事であり、春日野は、平城京に隣接した「野遊び」にふさわしい場所でした。

一方、ウメは外来植物で、奈良時代にはまだ珍しい植物でした。「梅」という漢字の音を和風に発音したのが「ウメ」だということなのです。

『万葉集』や日本最古の漢詩集である『懐風藻』には、梅の花びらを雪と見紛うという趣向の詩歌がいくつもあります。そのことから、当時は白梅が好まれたと考えられています。

(本文 万葉文化館 井上さやか)



クイズ
先月の答え
③ ③はヤマト
タケルの逸話だよ。

今月の問題
Q 中国では梅を古くからのよきな用途に使っていたでしょうか?
① 薬材
② 建材
③ 染色材

答えは来月号を見てね

万葉ちゃん

春日野の梅

今回の歌が詠まれたとされる春日野(奈良市)では、今も片岡梅林で梅を楽しむことができます。片岡梅林は、浮見堂の北側の丘の上にあります、約250本の白梅・紅梅が重要文化財の円窓亭を取り囲むように植えられています。皆さんも、ご家族やお友だちと「野遊び」に出かけてみてはいかがでしょうか。梅の例年の開花は2月中旬頃。詳しい開花状況等は、左記で。

片岡梅林の白梅

図県奈良公園事務所
☎0742-22-0375